

☆創立60周年記念式典社長挨拶骨子☆

皆さん、こんにちは。本日は、コニックスグループの記念すべき60周年記念式典にご多用のところご参集いただき誠にありがとうございます。

(かなえ)

今も、本社玄関で我々を見守って下さる故 吉田 弐(かなえ) 会長が昭和30年11月に創業以来60年を迎える事になりました。4名で始まった当社の前身である吉田興業が現在では、コニックスグループで2700名弱、アイビックスグループも含めると7000名を超える日本でも有数のビルメンテナンスの会社に成長いたしました。今日のコニックスグループがあるのも、毎日笑顔で汗を流してくださっている従業員の皆様のおかげ、また多くの退職された諸先輩のおかげ、そしてご支援いただいたお客様のおかげ、そして助けて下さった協力業者さんのおかげとこころよりお礼申し上げます。



さきほどのオープニングムービーには、たくさんのなつかしい写真がありました。感無量の感がありますが、逆に写真にでなかったいろいろな事が思い出されます。従業員の皆さんの笑顔の写真も本当にありがたいです。あらためて皆様方に感謝であります。

さて、先般、グループ会社の成績も確定し、コニックスグループで約90億円近い売上を上げる事ができました。幾多の危機があったなかますます順調にこられたのは、亡き 弐(かなえ) 会長や 銚三 会長が教育熱心でその誠実な人柄がたくさんのお客様の支持を得られた事と質実剛健な社風をつくって下さった事にほかなりません。まだ、ビルメンテナンス業が確立されていない時代に「吉田大学」と銘打った教育カリキュラムは、当時の業界の一步も二歩も先へ行くものでした。また、ここ数年の業績は、社員参加型の経営戦略プロジェクトである「すごい会議」で若手社員の能力を引き出し、それぞれが自立的に活躍した結果にほかなりません。皆様方の頑張り心から敬意を表します。

会社の寿命は一般的に30年といわれますが、幸運にもその倍の60年を迎えることができました。60年目の創立記念式典でもあらためていう事は2つです。

一つが「サービスの価値は自分で創る」です。トムソーヤのペンキ塗りの逸話にある、罰で与えられたペンキ塗りをトムソーヤがニコニコ、カッコよく行う事により、見ていた子供たちがペンキ塗りを

やりたがり、お菓子をせしめた話です。サービスというものは、結果だけでなく、笑顔の価値、挨拶をする価値、姿勢の良いしぐさの価値、キビキビ動く価値…そういったものすべての総合価値の成果であるという事です。そして、面白い事はすべて原価ゼロ円で実現できるという事です。

二つ目は、「仕事の価値」です。仕事というものは、給料が高い事は大変重要ですが、「仕事の価値は、給料で決まるものではありません。仕事を通じて、お客様や同僚・周りを取り巻く方々を幸せにし、地域や社会に貢献することが本当の仕事の価値であり、喜びだという事です。」

さて、いろいろな事を申し上げましたが、60年目のコニックスは、ここ数年では、一番のピンチにみまわれています。既に4年前から日本は、少子高齢、人口減少社会に突入しております。TPP参加にともない世の中はさらなるグローバル化が進むでありましょう。労働力減少、社会保険料の増加、消費税の増加、最低賃金の増加等、会社を取り巻く環境そしてお客様を取り巻く環境は、予断を許しません。これまでの60年は、いろいろありましたがお客様の成長によりそい、お客様の成長ともに当社が成長した歴史でありました。少なくともこれから先の30年はお客様が成長しなくても当社自身の価値をつくり、当社自身が自ら成長をしなくてはいけない30年になるでしょう。また、そうなることが、唯一の存在価値になるのではないのでしょうか？是非、皆様のお力添えをいただいて、ともに変化していきたいと思います。

今回、60周年にあたり、少し、いつもより盛大に行う事にしました。11年前社長就任し、早々の50周年の時は、社員の皆さんに大したことができず、残念な思いをいたしました。この10年、少しずつお金を貯め、今回は、このマリOTTホテルで400名以上の皆さんをご招待し、人気歌手をお迎えする事になっております。少々やりすぎじゃないのなんて言葉もありますが、この日を迎えるために10年頑張ってまいりました。この先10年、20年、そして創業100年とコニックスグループが世の中から必要とされ、成長できる事心から祈願しております。また、そのために皆さんの絶大なるご支援をなにとぞよろしくお願い致します。

今日は長丁場ではありますが、心から楽しんでいただきたいと思います。

ありがとうございました。